

運営推進会議議事録

日時	平成29年5月17日(水) 15:00～16:00
場所	ケアビレッジたがの里3階会議室
参加者	天水町民生委員・児童委員協議会会長…國友 親様、 玉名市高齢介護課・介護保険係 主査…松本 佳名子様、 玉名市社会福祉協議会・天水支所長…中村 温美様、 玉名市包括支援センター・看護師…加賀田 ルミ子様、 他関係職員12名
内容	平成29年度 第1回運営推進会議
<p>施設長挨拶</p> <p>昨年度は、熊本地震で5月の第1回目の運営推進会議が開催できませんでした。しかし、今年度は特に問題等なく無事第1回目の運営推進会議を開催できて幸せに感じております。</p> <p>当施設も無事6年が過ぎ、本年度7年目に入りました。まだまだ未熟な面が多いですが、スタッフ全体で一生懸命頑張っています。皆様からの多感なご意見・ご指導をお願い致します。</p> <p>本日は、昨年度の実績報告と今年度の事業計画についてご説明させていただきます。</p> <p>1)実績報告 各ユニットの資料説明</p> <p>2)行事 各ユニット資料参考説明 たがの里・きらめき新聞説明</p> <p>3)入院及び他科受診 看護部資料説明</p> <p>4)給食 3月分予定献立説明</p> <p>5)登録・運営・利用者状況 たがの里CMより、資料説明</p> <p>6)意見交換</p> <p>Q: 居宅介護支援事業所「わかみや」は、どのような運営をされるのか。 A: 在宅の利用者の方のサービス提供を行う。ケアマネージャーは、1名。</p> <p>Q: 熊本地震で本年度の8月まで天水公民館が使えない為、定例会の会場として、6月と7月は、天水クラブ、8月10日(木)にたがの里を会場として予定している。但し、8月12日(日)は、法人主催の夏祭りの為、準備等で忙しい中、定例会の会場として利用できるのか。 A: 特に問題はない。祭りの準備の様子などを含めて、施設の様子を見て頂きたい。定例会は、13:30～16:00、きらめき縁がわで実施予定。ポールウォークの見学と施設館内の視察も予定</p> <p>Q: 災害の時の避難場所は、どこか。 A: たがの里の3Fを予定している。5月30日(火)に法人全体の土砂・水害災害の避難訓練を予定その際、1Fの人は2Fへ移動。またスタッフ1名、車椅子の利用者を背負い2Fへ運ぶ予定。先に保育園と障害施設が避難されるので保育園と障害施設のスタッフからも応援が来る予定</p> <p>Q: 想定外の計画も考えているのか。 A: 想定外の計画も考えている。</p> <p>Q: 消防団は呼ばれないのか。 A: 当日の訓練には、予定はない。5月20日(土)にみなと地区の消防団の視察はある。</p> <p>Q: 緊急避難の為に、天水地区の区長さん3人に参加して頂いた方が良い。 A: 区長さんにも一緒に参加してもらって運びで計画していきたい。</p> <p>Q: 熊本地震の為、天水町の公民館の建て替えが行われている。平成30年6月に新しい公民館が完成予定。その為、来年6月まで自主避難場所がない状態なので、たがの里の介護施設など避難の受け入れ場所を幾つか確保してほしい。 A: 積極的にたがの里の施設は、住民の避難場所として受け入れる方向で今考えている。</p> <p>7)施設長より(今年度の事業計画など)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成29年度の事業計画を説明。 ・地域の方たちと一緒にスタッフも成長していかなければならない。 ・家での生活から施設での生活に不安なく継続していけるよう努める。その為に家で使っていた家財道具を施設に取り入れたり、キーパーソンの方には、遠慮なく面会に何度でも来てほしい。 	

運営推進会議議事録

7)施設長より

- ・施設でのサービス提供するスタッフの資質向上に努める。その為に研修等にも積極的に参加する。
 - ・たがの里ときらめき、ニコニコハウスの利用情報を積極的にPRする。その為、今、相談員などが関係機関に出向いて、情報発信を行っている。
 - ・職員の健康管理を徹底することで、利用者さんの健康管理にもつながる。昨年度末、インフルエンザが流行し、スタッフ4、5名がB型インフルエンザに感染した。利用者さんに広がらないように努めた。
 - ・平成29年8月1日より、居宅介護支援事業所開設予定により、ニコニハウス(通い)、きらめき(通い、泊り、訪問)、たがの里(入所)、わかみやの居宅サービスと介護保険サービスが1つになり流れができあがる。
 - ・社会福祉法人の内部留保がよく問題視されている。本法人では、福祉充実計画を作成し地域住民と一緒に夏祭りの実施など、できるだけ地域へ還元できるように努める。
 - ・厨房の作る食事は、利用者さん達にとって一番の楽しみである。美味しく、笑顔が自然と出てくるメニューになるよう年間計画をしっかりと考え食事を提供する。
 - ・ポールウォークでは、岱明や玉東方面からも利用者さんが参加されている。
 - ・投薬の誤薬は、あってはならない事である。スタッフによる注意力の散漫さは否定できない。十分注意するよう努める。利用者さんの転倒については、予測が難しい為、転倒を予測するアプリ等の使用も検討していきたい。
- Q: たがの里の3ユニットの利用者数29名に対して、スタッフの数は足りているのか。
- A: 国の基準では、利用者:スタッフの割合が3:1を提示している。但しユニットケア推進センターの基準では2:1であり、現在たがの里のスタッフは、15人で支援している為、ユニットケア推進センターの示す基準はクリアしている。
- ・今年度は初めて新卒の職員を採用した。ベテラン、中堅、新人とが共同して職務にあたっている。